

TCC地域研究シリーズ2
アニメ舞台と地域社会

「あげつちノート①」

静岡県沼津市あげつち商店街からの
聞き取り調査①

- ・つじ写真館 様
- ・ノーブル 様
- ・グランマ 様
- ・浜忠 様

より

五十嵐 大悟 (P.N.あしやまひろこ) 著

テクノコスプレ研究会

TCC 地域研究シリーズ2

アニメ舞台と地域社会

「あげつちノート①」

静岡県沼津市あげつち商店 街からの聞き取り調査①

- ・ つじ写真館 様
- ・ ノーブル 様
- ・ グランマ 様
- ・ 浜忠 様

より

【注意】 本書はインタビュー対象者からご了解を戴き、そのご意見を尊重して掲載をいたしておりますが、本書や本書の内容に関するご質問は対象者の負担とならないよう、まずは筆者までお問合せいただくようお願いいたします。また、本書の内容は、筆者により将来的にインターネット等に公開する可能性があります。

目次

- 3 はじめに
- 5 つじ写真館 峯知美さん より
- 14 ノーブル 内田祥一さん より
- 21 グランマ 中川節子さん より
- 26 浜忠 荻島正樹さん より



商店街のアーケード
(2017年8月)

はじめに

お手にとってくださいました皆様、はじめまして。筆者の五十嵐大悟です。

この本は、前回の『TCC 地域研究シリーズ 1 アニメ舞台と地域社会 静岡県沼津市『ラブライブ！サンシャイン!!』早期から地域にてタイアップを実施した企業へのインタビューから捉える地域振興、聖地巡礼、企業タイアップとフィルムコミッション』という同人誌の続編となります。

前回は、2016年7月にテレビ放送が開始されたテレビアニメ『ラブライブ！サンシャイン!!』と早期からタイアップを行っている、地域の公共交通機関およびレジャー産業を営む企業2社へのインタビューを行いましたが、今回はある意味で対照的な地域として、沼津市の駅南側狩野川沿いにある、あげつち商店街の店舗の皆さんにインタビューを行いました。

あげつち商店街は、『ラブライブ！サンシャイン!!』に関しては、キャラクターの一人である津島善子の住んでいるマンションのモデルがある地域ということで、現在は商店街を挙げて『ラブライブ！サンシャイン!!』やキャラクターとしては特に津島善子を応援しています。ですが、作品の放送当初は、特にこれといった活動はなく、放送が開始された後に、作品を知った地域内外の人たちによって徐々に盛り上がりを見せている地域です。

これについて、ともすれば作品があったから盛り上がった地域などと思われるかもしれませんが、あげつち商店街は2016年6月に経済産業省から「はばたく商店街30選」にも選ばれた商店街であるように、もともと沼津市の中でも活気のある商店街の一つです。

筆者は、あるアニメや映画などの作品が特定の地域にかかわったときに、どのようなことが起きるか、について幅広い視点から考えたいと思い、調査を行っています。そして、それを知るためには、

その地域やそこで生きる人が、どのような歴史や文化を育み、それが今の現象に影響を与えているのかを知る必要があると考えています。

そこで、筆者はこのあげつち商店街が、『ラブライブ！サンシャイン!!』という作品と出会ったきっかけや、どのように地域と関連するようになったのか、そして、地域そのものはどのような歴史を経てきたのかについてを、2017年8月、各店舗のご協力を頂きながらインタビューをさせていただきました。

このような、ある地域の今現在の状態というものは、資料が分散してしまったり、個々人の記憶が忘れられるにつれて、将来的にわからなくなってしまう可能性を秘めています。そのため、今現在『ラブライブ！サンシャイン!!』と、対面し、何らかの変化や、あるいは変化のなかったことについて、自分自身の関心として、記録に留めたいと考えています。また、地域の皆様からも、地域がいままで育んできた事柄について、まとめてほしいという応援の声もいただいております。今後も継続してあげつち商店街の皆様にご協力を頂きながら、この商店街の歴史や、いままでの取り組み、現在、そしてこれから先どのような姿を目指しているのかを、地域の皆様と一緒に、記録として残していきたいと考えます。

本誌では、聖地巡礼や地域振興ということについて、何か筆者が特別な論を述べるものではありません。ですが、地域から聞こえてくるありのままの声を集め、届けることで、沼津やあげつち商店街のことを記録し、広めることができればと思います。

なお、本誌を作成するにあたり、沼津あげつち商店街振興組合様および、本誌に掲載させていただきました、有限会社つじ写真館様、ノーブル様、グランマ様、浜忠様、またインタビューをさせていただきましたが次回以降掲載をさせていただきたく考えております、井筒屋様、株式会社市川様、有限会社阿見屋様（順不同）の皆様には深く御礼を申し上げます。

つじ写真館 峯知美さん より



静岡県沼津市上土町 36 有限会社つじ写真館 にて
(2017年8月)

はじめに

つじ写真館さんは2017年に50周年を迎える、沼津市の銀座通り商店街に面している写真館です。写真館としては、記念写真、証明写真等の撮影、地域の学校行事や公的行事での写真撮影等を行っています。

つじ写真館さんでは、2016年秋ごろに、『ラブライブ！サンシャイン!!』を応援するために、店舗の外観に設置されている黒板2枚に、ご自身やご家族が書いたキャラクタのファンアートと共に、商店街の紹介を掲示する等の活動を行っています。この掲示は作品のファンの目に留まるようになり、掲示を開始した数週間後には、『ラブライブ！サンシャイン!!』の制作スタッフであり作画監督の室田雄平さんが訪れ、その際に色紙が寄贈されたとのことでした。

監督自らがその様子をTwitterに公開すると、より多くのファンが訪れるようになりました。また、つじ写真館さんは、もともと店舗の中に机と椅子があったこともあり、次第にあげつち商店街での『ラブライブ！サンシャイン!!』ファンの集い場になりました。つじ写真館さんは現在、あげつち商店街と『ラブライブ！サンシャイン!!』とのコラボレーションやタイアップにおいて、中心的な役割を果たしていると考えられますが、つじ写真館さんが『ラブライブ！サンシャイン!!』を知ったきっかけや、現在までの間にどのような経緯があったのかを、峰知美さんから伺いました。

『ラブライブ！サンシャイン!!』を知ったきっかけ

峯さんが最初に『ラブライブ！サンシャイン!!』を知ったのは、2016年7月に、ご家族と自動車で沼津市内浦地区にある、内浦漁業協同組合直営の飲食店である「いけすや」に行った時のことだったそうです。

その時、ご一緒していたお子さんは、もともと『ラブライブ！サ

ノーブル 内田祥一さん より



静岡県沼津市上土町68 ノーブル にて
(2017年8月)

はじめに

ノーブルさんは1950年に開業した、あげつち商店街にある紳士服店です。現在の店主の内田さんは2016年3月まで、沼津あげつち商店街振興組合の理事長を務められた方です。大学を卒業後、海外留学や放浪ののち、東京にある全国規模の紳士服店にて修業したのち、ノーブルさんに戻ってきたとのことでした。

三島と沼津の違い、沼津という町について

まず、沼津の隣には三島という街がありますが、この沼津と三島の違いについてお話をいただきました。内田さんによると沼津と三島では、消費が旺盛であると考えられる若い世代がいること、いないことに違いがあるとのことでした。

たとえば、三島には現在大学があるものの沼津にはないように、沼津にはお酒を飲んだりするような、お金を落としたり消費をしたりする層である、学生や独身の単身世帯が少ないと感じるそうです。街そのものとして、沼津は三島よりも大きいものの、商店街は三島のほうが活気づいているのではないかと、とのことでした。

商店街という観点からは、昔は沼津市内の様々な商店街や、その商店街が加盟する、商店街連盟の活動が現在よりもより活発だったとのことですが、現在は当時ほどは活発ではないとのことでした。また、沼津の、特に市街地の人の気質として、賢くてお金儲けがうまい人も多いものの、それゆえに失敗を恐れてかたくなになってしまふところがあるのではないかと、とのことでした。

ですが、内田さんの考えとして、街を変えるには「よそ者・若者・馬鹿者」といった存在こそが大事であるとのことであり、よそからやってきた人、若い人、柔軟な発想をする人を大切にしたいと日々考えていたとのことでした。

『ラブライブ！サンシャイン!!』の効果もあり、街には若い人が

グランマ 中川節子さん より



静岡県沼津市上土町63 グランマ にて
写真はグランマにて販売中の「墮天使のショコラ」
(2017年8月)

はじめに

グランマさんは、1901年創業の後、創業100年を節目に一時閉店していた老舗和洋菓子店である「旭園本店」をリニューアルする形でオープンした洋菓子店です。中川さんは現在の店主のお母さんに当たる人で、『ラブライブ！サンシャイン!!』とのタイアップにあたり、峯さんなどとも連携をしながら、タイアップの担当をしているそうです。

ドーナツ化現象・後継者問題・新陳代謝

まず、あげつち商店街の景気についてお伺いしましたが、あげつち商店街は2000年ごろから景気が悪くなったとのことでした。これはバブルの崩壊の影響などではなく、大型店舗が郊外に出来たことで、いわゆるドーナツ化現象による影響ではないかと考えるとのことでした。このころ、同時に全国では店舗の後継者問題が発生しており、あげつち商店街も例外ではないといえます。

そのような中で、あげつち商店街は若い人のアイデアや情報を活用するように動いているとのことでした。現在あげつち商店街にある青果店や古着屋さんの若い店主はインターネットなどを活用したりして、商店街をよりよくしようと動いていることもあり、今現在のあげつち商店街にはシャッター街はないそうです。あげつち商店街では、若い人の考えが反映されていることもあり、今回の『ラブライブ！サンシャイン!!』についても街の活性化につながっていると考えるそうです。あげつち商店街は『ラブライブ！サンシャイン!!』と街が関わりを持つよりも、もっと前から、商店街は若い人たちの意見を尊重して、若い人が来ることを望んでいたとのことでした。

浜忠 萩島正樹さん より



静岡県沼津市上土町80 浜忠 にて
(2017年8月)

はじめに

浜忠さんは、今年で創業 49 年となる飲食店です。もともとは、インタビューを頂いた荻島さんの祖父母の代に沼津駅北口で開店した鰻屋が発祥で、その後沼津市内の香貫という地区に店舗を移し、7 年ほど前からは香貫にて弁当の販売を、あげつちにて飲食店の店舗を営んでいるとのこと。今回は、現在の店主の息子さんであり、店舗の Twitter 運営なども担当されている荻島さんから話をお伺いしました。

『ラブライブ！サンシャイン!!』との出会い

荻島さんは、去年沼津の夏祭りがすごく賑わっていたことを知ってはいたものの、2016 年 10 月ごろに商店街の会合で作品の話を知り、聞くまで、『ラブライブ！サンシャイン!!』という作品そのものや、沼津がその作品の舞台になっていることを全く知らなかったそうです。街中を走るバスや駅前のカフェなども、目には入っていたものの、そこまで気に留めていなかったそうです。

あげつち商店街の会合がきっかけとなって『ラブライブ！サンシャイン!!』を知り、峯さんの強い勧めもあり実際に作品を見てみると、自分自身の生まれ育った地域の風景や、名物の食べ物の「のっぽパン」なども登場しており、キャラクターが本当にそこに実在しているかのような描写に感動を覚え、応援したいと思ったそうです。作品のストーリーについても、頑張っている女子高校生たちの姿に、自身が働く身としても感動を覚えたとのことでした。なかでも、容姿もかわいらしく、前向きに頑張る黒澤ルビィというキャラクターに特に惹かれたとのことでした。

『ラブライブ！サンシャイン!!』と黒澤ルビィのファンになってからは、純粋に応援したいという気持ちから、2016 年の 12 月ごろに荻島さん自身でフィギュアやノートなどを買って、店舗に置い

TCC 地域研究シリーズ2
アニメ舞台と地域社会
「あげつちノート①」
静岡県沼津市あげつち商店街からの聞き取り調査①

- ・つじ写真館 様
 - ・ノーブル 様
 - ・グランマ 様
 - ・浜忠 様
- より

発行：テクノコスプレ研究会
連絡先：hirokoas@gmail.com
www.technocosplay.com

印刷：株式会社 BRO'S

2017年8月13日 初版発行

編集後記

前回ここに書いた、おもしろいはなし、の一端がこれだと考えています。

作品の、いわゆる「聖地」は、そのバックグラウンドこそ面白いものであり、これは実はどのような地域……それは聖地でない地域も、もそうなのではないかと考えています。何気ない日常がどのようにして作られているか、それは本当に奇跡なのかもしれません。

なお、いずれの写真も筆者撮影です。

8月10日 五十嵐大悟（あしやまひろこ）

静岡県沼津市を主な舞台のモデルとした雑誌連載企画及びアニメーション『ラブライブ！サンシャイン!!』と、その舞台となっている地域とのかかわりを徹底考察する第二弾。本巻では、あげつち商店街の店舗へのインタビューを紹介します。商店街と『ラブライブ！サンシャイン!!』のタイアップやコラボレーションがいかにしてなされたのかについてを考える基礎となると考えており、今後も継続してあげつち商店街を調べて行きたいと考えています。地域社会、文化史、郷土史、地域振興、聖地巡礼、舞台探訪、萌えおこし、地域と作品を研究するひと、盛り上げていきたいひと、タイアップやコラボレーションを実際におこないたいひと、沼津と『ラブライブ！サンシャイン!!』を愛するひと、すべてに捧げます。